

令和4年度

自殺対策関連相談オンライン研修会

参加費
無料

自殺は、遺族に怒りや自責の念、罪悪感、否認、混乱や拒絶など様々な感情等を抱かせることがあります。また、人に打ち明けられないことや周囲の無理解で苦しみが長引いてしまうこともあります。そのため、新たな「自殺総合対策大綱」においても、自死遺族のおかれた状況を理解し、丁寧な支援を行う必要があるとされています。そこで、自死遺族（遺児）の方に対する理解を深め、接するにあたっての基本的な姿勢や地域支援者・住民として何ができるかを学ぶために本研修を開催します。

日 時 令和5年2月6日(月) 午後1時30分から4時

開催方法 オンライン(ZOOM) ※後日オンデマンド配信も行います。

対 象 自殺対策や自死遺族支援に関わる支援者、一般県民

※視聴に必要な機材は各自でご用意ください。

※視聴に係る通信料は参加者自身でご負担ください。

申込方法 下記 URL もしくは QR コードからお申込みください

https://s-kantan.jp/pref-nagano-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=25704

※オンデマンド配信のみを希望される方も上記 URL からお申込みください。

申込締切 令和5年1月20日(金)



時間	内容	講師
13:30~	開会・あいさつ	
13:40~	講演①自死遺児の物語を知る	いのち支える自殺対策推進センター 自殺総合対策部 自死遺族等支援室長 地域連携推進部 地域支援室長 菅沼 舞 氏
14:15~	休憩(10分間)	
14:25~	講演②自死遺族支援で大切にしたいこと ~グリーフの視点から~	一般社団法人 リヴオン 代表理事 尾角 光美 氏
15:20~	対談 「自死遺族を支えるために社会ができること」	いのち支える自殺対策推進センター 自殺総合対策部 自死遺族等支援室長 地域連携推進部 地域支援室長 菅沼 舞 氏 一般社団法人 リヴオン 代表理事 尾角 光美 氏
15:55	閉会	

(尾角光美氏プロフィール)

2003年19歳で母を自殺により亡くし、翌年よりあしなが活動で病気、災害、テロ等による国内外の遺児らのグリーフケアに携わる。2006年の「自殺対策基本法」制定を機に全国の自治体、寺院、学校での講演、研修で講師を務めるようになる。2009年リヴオンを立ち上げ、母の日プロジェクト、遺児支援など活動をはじめ。2016年より日本財団国際フェローシップのフェロー5期生に選出され、2018年英国ヨーク大学大学院にて国際比較社会政策学修士号を取得。近著に『なくしたものとつながる生き方』(サンマーク出版)。自分が受けたサポートがこの世の中に当たり前にあるようにと「恩送り」を大事にしている。



(菅沼舞氏プロフィール)

2004年17歳で父を自殺により亡くす。2014年から「一般財団法人あしなが育英会」に入職し、さまざまな理由で親を亡くした大学生や留学生の生活面や心理面のサポートに関わる。2020年から「いのち支える自殺対策推進センター」に入職、自死遺族等支援室長に就任。2022年から同センターの地域支援室長も併任し、全国の自死遺族等支援事業に関する自治体の窓口も担当している。



主催 長野県精神保健福祉センター(自殺対策推進センター)

問い合わせ先 TEL:026-266-0280